

第2回 簿記の基礎

財産はいくらある？

～貸借対照表～

講師
粕谷和生

資産・負債・資本の各項目を記載した表を貸借対照表といいます。資産・負債・資本の項目は、経営活動によって増加したり減少したりします。今回はこの増減を、演習で体験します。さらに、当期純利益の計算方法を学んでから期末の貸借対照表を作成してみましょう。

調べておこう・覚えておこう

現金／売掛金／商品／
 備品／買掛金／借入金

貸借対照表とは

貸借対照表とは、一定時点の企業の財政状態を明らかにするために、左側に資産の各項目を、右側に負債と資本の各項目を記入した表です（5ページ参照）。番組では「さかっち商店」の貸借対照表を例として示しています。さかっち商店の資産は、現金・売掛金・商品・備品ですから、これら4つの資産は貸借対照表の左側に記入されています。また、さかっち商店の負債は買掛金・借入金の2つで、これらは右側に記入されます。負債の下に資本を記入しますが、資本は「資本金」という名前で記入します。

Key Word：貸借対照表 資本金

資産・負債・資本の増減

商品の仕入れや販売、現金の支払いや受け取りなどの経営活動（取引）によって、資産・負債・資本は増加したり減少したりします。これはとても重要なことです。そこで「経営活動による資産・負債・資本の増減」を体験してもらうために、「さかっち商店」の1月中の経営活動（取引）をもとに演習を行います。下記のワークシートに資産・負債・資本がどのように増減するか、金額を書き込んでみましょう。

ポイント 経営活動（取引）によって資産・負債・資本の金額は増加または減少する。

【演習】

1月1日（スタート時点）の「さかっち商店」の資産・負債・資本

現金	200,000	買掛金	50,000
売掛金	100,000	借入金	350,000
商品	300,000		
備品	400,000	資本金	600,000

1月6日：商品¥100,000を仕入れ、代金は掛けとした。

現金	200,000	買掛金	()
売掛金	100,000	借入金	350,000
商品	()		
備品	400,000	資本金	600,000

1月10日:仕入価額¥200,000の商品を¥300,000で売り渡し、代金は現金で受け取った。

現金	()	買掛金	150,000
売掛金	100,000	借入金	350,000
商品	()		
備品	400,000	資本金	()

1月17日:広告料¥10,000を現金で支払った。

現金	()	買掛金	150,000
売掛金	100,000	借入金	350,000
商品	200,000		
備品	400,000	資本金	()

1月25日:給料¥40,000を現金で支払った。

現金	()	買掛金	150,000
売掛金	100,000	借入金	350,000
商品	200,000		
備品	400,000	資本金	()

1月31日:仕入価額¥100,000の商品を¥150,000で売り渡し、代金は掛けとした。

現金	450,000	買掛金	150,000
売掛金	()	借入金	350,000
商品	()		
備品	400,000	資本金	()

貸借対照表の作成

貸借対照表の作成の前に当期純利益を計算します。ふつう当期純利益は第3回で学ぶ損益法によって計算しますが、今回は次に示す「財産法」によって計算します。

期末資本－期首資本＝当期純利益（マイナスのときは当期純損失）

財産法は、期末（1月31日）資本の金額から期首（1月1日）資本の金額を差し引いて当期純利益を計算します。「当期」とは、今回の演習では1月1日から31日までのことです。

さかっち商店の1月1日の資本は¥600,000で、31日の資本は¥700,000ですから、これらを財産法の計算式にあてはめて当期純利益を計算すると、次のようになります。

$$¥700,000 - ¥600,000 = ¥100,000$$

当期純利益¥100,000は、1月中の資本の増加分ということができます。

それでは次に、1月31日のワークシートをもとに貸借対照表を作成してみましょう。貸借対照表の日付は平成〇年1月31日、商店名は「さかっち商店」です。左側に資産の各項目を記入し、右側に負債と資本の各項目を記入することはすでに学びました。ただ、ひとつだけ資本の記入で注意することがあります。

資本は資本金という名前で記入しますが、金額は期首の資本金の金額を記入し、その下に「当期純利益 ¥100,000」と記入します。つまり、期末の資本金を期首の資本金と当期純利益に分けて記入します。

それでは、下記のさかち商店の1月31日の貸借対照表を作成してください。

貸借対照表

() 商店 平成 年 月 日 (単位:円)

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金		()	
()		借 入 金	
()		資 本 金	
備 品		()	

簿記では、合計するときには1本で示す「合計線」を引き、その下に合計金額を書きます。合計金額の下には、2本の複線で示す「締め切り線」を引きます。貸借対照表の左側の合計金額と右側の合計金額は同じになり、左右つり合います。貸借対照表を英語で「バランスシート」といいます。

Key Word : 財産法 期末資本-期首資本=当期純利益 バランスシート

しかし、英文簿記で一般に「バランス」というときは、残っている金額という意味の「残高」をいうことが多いので注意しましょう。